

TEC 通信

国連大学卒業生との交流記録・高校生会員の活動報告

NO. 3

2015年12月1日発行

2015年12月8日改訂

責任者：熊田 強子 Tel: 531-1887

立川イングリッシュチャットルーム

ジョセフさんのサヨナラパーティー

9月に突然、“ジョセフさん帰国”の知らせをもらい、私達は皆非常にびっくりしましたが、とにかく急いでパーティーの準備に取り掛かりました。右の写真のセンターで、にこやかに笑っているのがジョセフさんです。ジョセフさんはケニア出身で、今年の夏に卒業した国連大学の修士課程では主に洪水災害の研究をしていました。彼の話はいつも興味深いのですが、今回は、日本の事務所で働いた経験から、少々耳の痛い話をユーモアたっぷりに話してくれました。彼の職場では、終業時間になっても、上司が帰るまで部下は帰宅できないというのです。さらに悪いことに、その上司は17時なってから新聞を読み始める習慣があるということでした。「これでは日本の経済は国際競争で勝てませんね」そんなニュアンスでした。



ジョセフさんとヤオさんを招いて開いた
さよならパーティーです。
2015年10月17日(土)

TEC 通信 No. 3 のトピック

1. ジョセフさんのさよならパーティー
2. ヤオさんからのお土産
3. ガーナの子供たちからの手紙
4. 岡本さんのA I U高校生国際交流プログラム参加報告

ヤオさんからのお土産

写真の中の、もう一人のアフリカ人紳士は、ガーナ出身のヤオさんです。今年6月に博士号を取得したホヤホヤの国連大学第一号の博士です。奥さんがガーナの小学校の先生で、その生徒さん達の手紙を持ってきてくれました。その素晴らしさを少しでもお伝えしたくて、次のコーナーで、その一部を紹介します。2013年の春から企画を始め、協力をお願いして、やっと手にできた成果であり、私たち全員のかけがえのない宝物です。小学校6年生とは思えない、知性豊かでたくましい創造性が、何気ない問いかけの中から、心の奥深くまで伝わって、感激します。

ガーナの子供たちからの手紙 質問形式ですが、彼らの視点や関心事が却って効果的に伝わってきます

*ニスカリン・N. A. アドジェイさんの質問 (1) 日本で使われた最初のソフトウェアは何ですか。(2) 日本や他の国々で雨が降るといのは何故でしょう？私に分かることは、ここアフリカでも降るから、他の国でも降るといことです。

*マリアン・スキマンさんの質問 (1) 何が日本を発展させたのでしょうか。(2) 日本も貧しかった事がありますか。(3) 日本も他の国からお金を借りますか。(4) 日本人は他の貧しい国々を助けますか。(5) 日本人は親切ですか。(6) 日本は静かで平和な国ですか。

岡本さん(成城高校生、TEC会員)のA I U高校生国際交流プログラム参加報告 (2015年8月)

高校生だけでなく大人にとってもグローバル時代の英語学習に参考となる考えや視点です。

1 : USHSDのスローガン: GRAB THE CORE

2 : ミッション: Learning other countries, Representing own country, and Building meaningful friendship

3 : キーワード: Challenge, Pride, and Respect

4 : 岡本さんの感想: USHSDでの体験を通して色々な角度から世界を見ることができましたが、もっと視野を広げるには日本を含め世界の様々なことを知る必要があるし、人との繋がりが重要だとも実感しました。最高の経験でした。

